

2012年2月期 第1四半期決算説明会



株式会社クリーク・アンド・リバー社

2011年7月7日(木)

東日本大震災発生、原発問題による、当社グループを取り巻くマーケットへの影響は、計りかねる状況

直接的な影響は軽微であるものの、今後の見通しについては予断を許さず

2012年2月期業績予想は、前期業績を最低ラインとして設定

	2011年2月期 (実績)	2012年2月期 (予想)
売上高	141億円	145億円
営業利益	2.8億円	3億円
経常利益	3億円	3億円
当期純利益	0.9億円	1億円



売上高前年同期比117%増収
前年の赤字より一転して黒字転換

全セグメントで増収増益を実現

震災の影響による投資有価証券の評価損を吸収し、
中間期において期初計画を上回る見込み

2012年2月期 第1四半期業績【連結】

[単位:百万円]	2011年2月期 第1四半期	2012年2月期 第1四半期	増減率	進捗率 (通期計画)
売上高	3,182	3,716	117%	26%
売上総利益	956	1,128	118%	-
販売管理費	1,083	1,092	101%	-
営業利益	126	36	黒字転換	12%
経常利益	122	52	黒字転換	18%
当期純利益	75	1	黒字転換	1%

2012年2月期 第1四半期業績(セグメント別)【連結・売上高】

CREEK & RIVER Co., Ltd.



[単位:百万円]	2011年2月期 第1四半期	2012年2月期 第1四半期	増減率	進捗率 (通期計画)
クリエイティブ分野 (日本・韓国)	2,640	3,001	114%	27%
医療分野	328	382	116%	19%
IT・法曹・会計他	262	413	157%	28%
計	3,182	3,716	117%	26%

* 消去の記載は省略しております

2012年2月期 第1四半期業績(セグメント別)【連結・営業利益】



CREEK & RIVER Co., Ltd.

[単位:百万円]	2011年2月期 第1四半期	2012年2月期 第1四半期	増減率	進捗率 (通期計画)
クリエイティブ分野 (日本・韓国)	1	92	黒字転換	42%
医療分野	90	56	赤字幅縮小	-
IT・法曹・会計他	13	15	黒字転換	32%
計	126	36	黒字転換	12%

* 消去の記載は省略しております

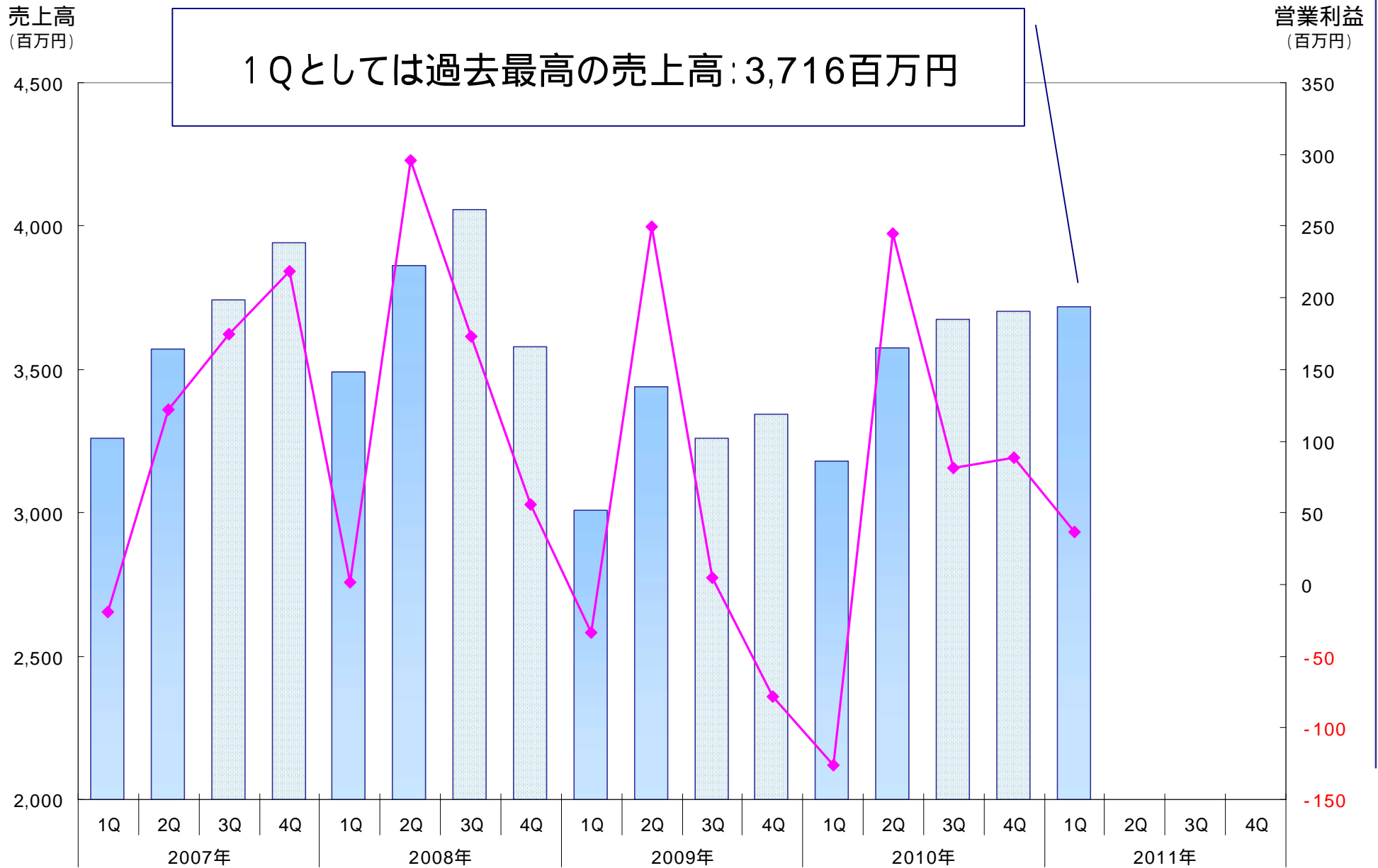
2012年2月期 第2四半期(累計)予想【連結】

[単位:百万円]	2011年2月期 第2四半期(累計) 実績	2012年2月期 第2四半期(累計) 計画(期初)	2012年2月期 第2四半期(累計) 計画(6/29修正)
売上高	6,758	7,000	7,200
営業利益	118	100	150
経常利益	126	100	150
当期純利益	16	20	30

2012年2月期予想【連結】

[単位:百万円]	2011年2月期 実績	2012年2月期 計画	増減率
売上高	14,137	14,500	103%
営業利益	286	300	105%
経常利益	300	300	100%
当期純利益	89	100	112%

C & Rグループ 四半期業績推移



C & Rグループが定義する「プロフェッショナル」

1. 世界中で活躍できる職種

2. 機械では決して代わることができない職種

3. 知的財産が蓄積される職種

《 事業の3つの柱 》

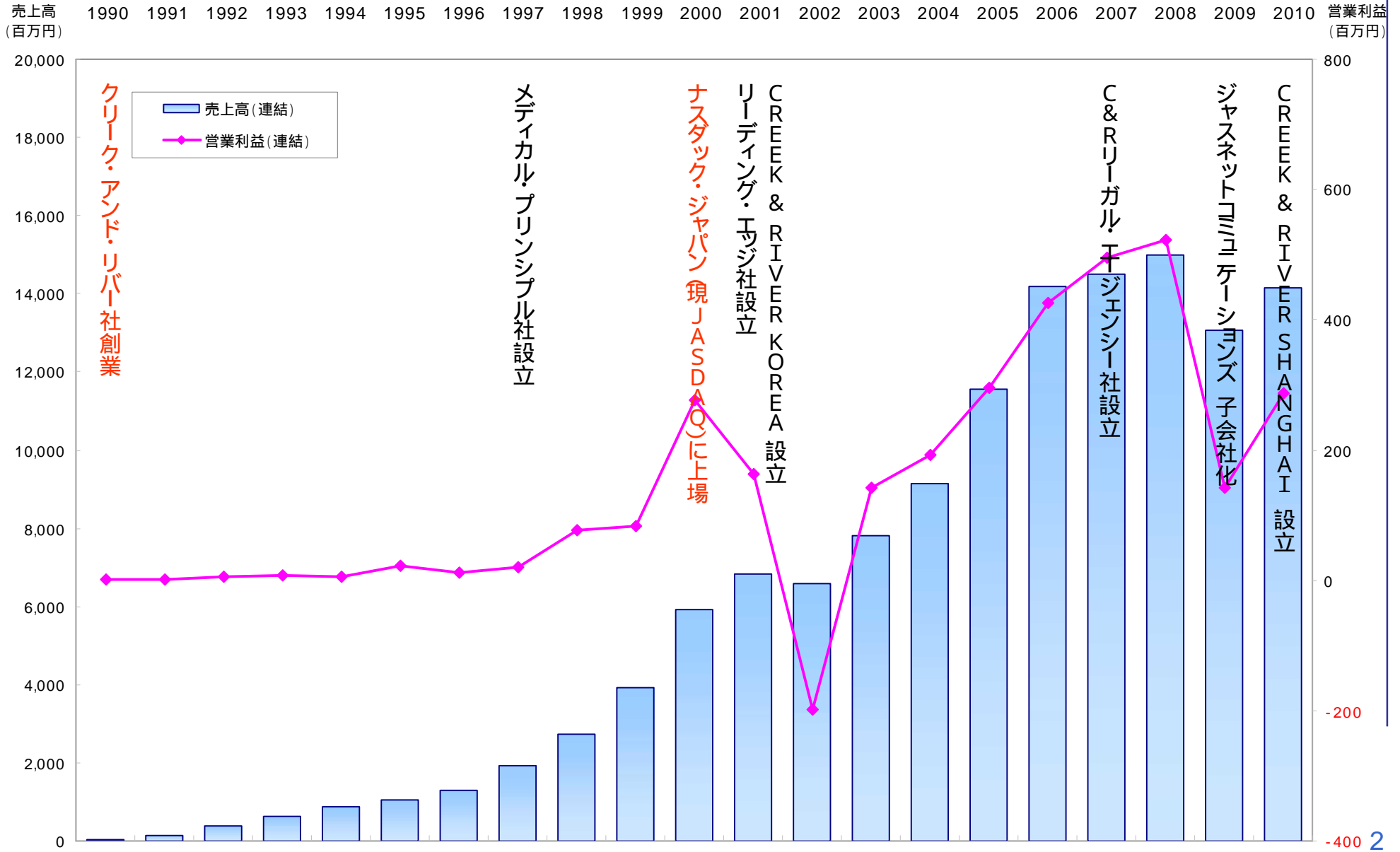


《 C & Rグループのミッション 》

プロフェッショナルの
生涯価値の向上

クライアントの
価値創造への貢献

C & Rグループ 業績推移 及び 沿革



C & Rグループ【分野別事業概要】

社名・事業分野	ネットワークしている プロフェッショナル	クライアント数	エージェンシー		プロセス	ライツ
			派遣	紹介		
【クリエイティブ分野】 クリーク・アンド・リバー社 (1990年設立) CREEK & RIVER KOREA (2001年設立) CREEK & RIVER SHANGHAI (2010年設立)	クリエイター 50,000名 プロダクション 1,000社	3,000社				
【医療分野】 メディカル・プリンシプル社 (1997年設立)	医師: 43,400名 医学生: 7,600名 看護師: 1,200名	7,850機関				
【IT分野】 リーディング・エッジ社 (2000年設立)	ITエンジニア 900名	50社				
【法曹分野】 C&Rリーガル・エージェンシー社 (2007年設立)	弁護士: 3,600名 パラリーガル: 700名	400事務所 / 社				
【会計分野】 ジャスネットコミュニケーションズ (2009年グループ化)	公認会計士 税理士他 14,500名	500事務所 / 社				



当社のクリエイターがクリエイティブ制作に携わるのは、

TV・映像

地上波TV番組：全体の約**45%**

放映時間：月間約**2,300**時間

月間稼働クリエイター数：約**700**人

ゲーム

ゲームタイトル：年間 約**300**本

ソーシャルゲーム：年間 約**100**本

月間稼働クリエイター数：約**400**人

Web

年間 約**7,000**サイト

月間稼働クリエイター数：約**300**人

広告・出版

年間 約**5,000**本

月間稼働クリエイター数：約**300**人



出版エージェンシー

2010年より、日本とアジア（中国・台湾・韓国）を結ぶ出版エージェンシー事業を展開

これまでの成約冊数：**122**冊

出版社からのオーダーは、常時**1,000**冊以上

《実績例》



電子書籍

成長する電子書籍市場での取り組みを強化

中国No.1シェア電子書籍リーダーのメーカー「漢王」と、日本のコンテンツの独占窓口としての業務提携契約を締結

これまでの掲載決定タイトル数：**67**タイトル

XPDF、.book等、あらゆるフォーマットに対応した電子書籍化を推進。
クリエイターを育成し、制作受託・派遣に対応。

《漢王 実績例》



【トピックス】クリエイティブ分野(日本) 中国事業への取組

CREEK & RIVER Co.,Ltd.



2011年3月14日、
中国No.1シェア電子書籍リーダーメーカー「漢王」と共同で
「中国コンテンツビジネス・カンファレンス」を開催

中国市場でのコンテンツビジネスについて、漢王の方々を中心とし、
中国市場に精通する吉良俊彦氏、加藤嘉一氏を招き、国内コンテンツホルダー向けイベントを開催



漢王 劉 代表



漢王 張磊 氏



漢王 陳紹強 氏



加藤嘉一 氏



吉良俊彦 氏



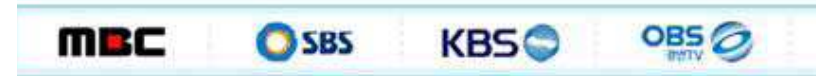
震災直後にも関わらず、多くのコンテンツホルダーが集まるイベントに。



TV

制作に携わるTV番組は、全体の約**80%**

月間稼働クリエイター数：約**1,000**人



地上波の3大キー局他、ケーブル局、衛星局等、TV局**60**局、約**80**チャンネルと取引

トップクリエイター

72名のトップクリエイターをマネジメント
著名クリエイターの著作権を資産化する
活動を展開

《トップクリエイターの職種》

ドキュメンタリー監督	俳優
ジャーナリスト	映画監督
漫画家	音楽監督
シナリオ、ドラマ作家	作曲家
放送ディレクター	小説家

コンテンツファンド

映画振興委員会(政府関係公的機関)より
出資を受けた
コンテンツ企画開発ファンドを運営
(ファンド総額: 27億ウォン * 約2億円)

現在**24**作品(映画・漫画等)に投資

医師・医療機関のネットワーク

国内最大級のドクター・ネットワーク

医師：43,400名 医学生：7,600名

医療機関：7,850機関



看護師事業

2009年より開始

ドクター・エージェンシーで培ったネットワーク、ノウハウを元に、
早期収益化を目指す

現在の看護師登録者数：1,200名



エージェンシー事業

900人のエンジニアをネットワーク

^{*}
アンドロイドの普及促進団体OESFの事務局を担当し、アンドロイド開発技術者の育成に注力

* Open Embedded Software Foundation の略

ビジュアライゼーション事業

2010年9月より開始

3DCG技術を活用し、可視化環境を構築するソリューション事業

大学、研究所等から3DCG開発を受注

初年度より黒字にて事業のスタートを切る



法曹・会計分野

～C&Rリーガル・エージェンシー社/ジャスネットコミュニケーションズCREEK & RIVER Co.,Ltd.



法曹分野

弁護士の登録者数： **3,600**名 パラリーガルの登録者数： **700**名

国内全弁護士の**10%**を超えるネットワークに拡大



会計分野

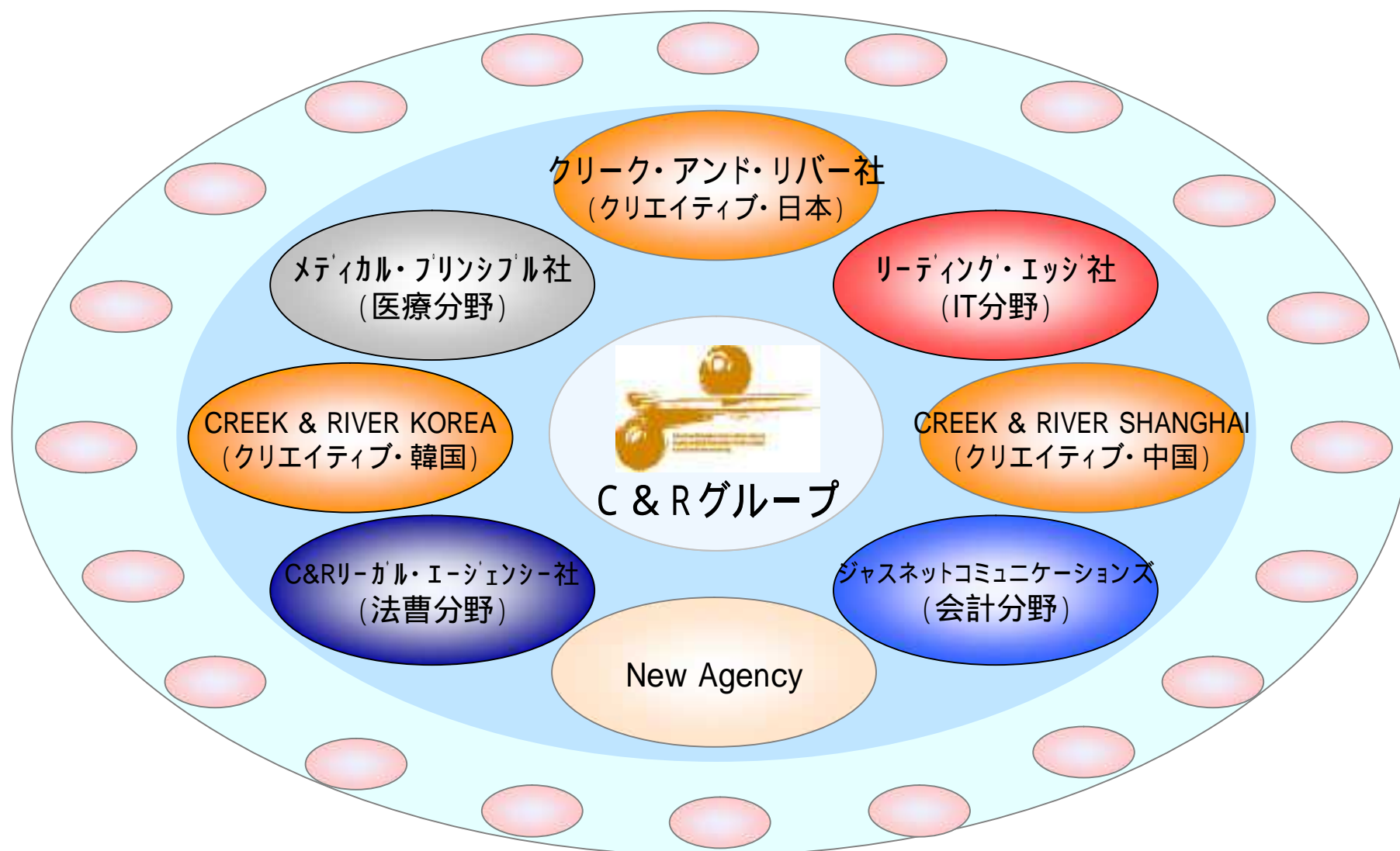
公認会計士・税理士等の登録者数： **14,500**名



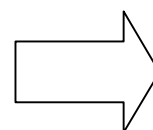
今後想定されるプロフェッショナル分野

《プロフェッショナル分野》	《人口》
一級建築士	20万人
工業デザイナー	2万人
機械・電機設計エンジニア	58万人
バイオ研究者	15万人
素材研究者	3.2万人
薬剤師	26万人
MR	5.6万人
⋮	⋮

C & Rグループ【将来展望】



エージェンシー事業を核とし、
各分野の関連企業と提携



グループの拡大へ

将来の記述に関するご注意

この資料には、当社または当社グループ(以下、C & Rグループといいます。)に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述が記載されています。

これらの将来に関する記述は、C & Rグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、C & Rグループの将来の実績、経營業績、財務内容が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なる可能性があります。

C & Rグループの主たる事業活動領域であるクリエイティブ・医療・IT・法曹・会計業界は、常に急激な変化に晒されています。C & Rグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

当社は、この配布資料に記載されている将来予想に関する記述について、これらの内容を更新し公表する責任を負いません。